

VL 講習会 2020

第 14 回「地球気候系の診断に関わるバーチャルラボラトリーの形成」講習会 ～気候変動研究におけるリモートセンシングの役割～

はじめに

「地球気候系の診断に関わるバーチャルラボラトリーの形成」プロジェクトでは、東大 AORI、名大 ISEE、東北大 CAOS、千葉大 CEReS の 4 大学に跨る研究センターにおいて、各センターの特色・研究資産を活かし、気候変動をキーワードに研究と教育を連携して実施しています。この連携によって、機関の枠を超えた研究会や講習会を開催し、学生や若手研究者の育成を目指しています。

昨今、気候変動など地球環境変動がより明瞭に見えつつあり、地球環境問題への関心がますます高まっています。地球表層のどこでどのような変化が起こっているのかを探る方法の一つとして、「リモートセンシング」の役割がますます重要になってきております。リモートセンシングは、人工衛星に搭載されたセンサなどから遠隔・非接触で地球表層をモニタリングする技術です。

今年度の講習会は COVID-19 の影響のもと、**オンライン**で「気候変動研究におけるリモートセンシングの役割」の副題で実施します。**オンデマンド形式の講義教材**と、**オンラインでのグループ学習を含めた実習**の構成を予定しています。

開催日時・場所

2021 年 3 月 8 日（月）、3 月 9 日（火） 13:00～17:00 （8 日はその後オンラインで懇親会）
オンライン（**Slack** というオンラインでのコミュニケーションツールを用います）

対象

大学院生、学部学生、若手研究者

内容と定員

講義：「気候変動研究におけるリモートセンシングの役割」として、千葉大学環境リモートセンシング研究センターの教員が、リモートセンシングの基礎、大気リモートセンシング、陸域リモートセンシング、リモートセンシングのモデルへの応用、などについてレクチャーを行います。オンデマンド方式で講義動画資料を視聴していただきます。（**人数制限なし**）

実習：以下の 2 つのメニューのどちらかを選択して受講していただきます。いずれも実習資料に基づいて、ご自身のコンピュータで実習を行います。数名のメンバーで構成するグループワークを含みます。最後には簡単な実習の成果報告会も予定しております。

オンライン上に指導員・補助員が待機し、いつでも質問等できる環境で実習を進めます。

テーマ 1：Python を用いた静止気象衛星ひまわり 8 号データの可視化と解析

テーマ2：Google Earth Engine を用いた MODIS 陸面データの解析

(定員：各 20 名)

申込方法：

以下のフォームよりアクセスください

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSey86w9iE9Nt7dCmp99j_OEQSjJoJm1OBQK4m8pz90Uoh-lzA/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0

以下よりアクセスも可能です。



申込締切：

2021 年 2 月 28 日（日）（ただし定員に達した時点で締切ります）

連絡先：

〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町 1-33

千葉大学環境リモートセンシング研究センター 市井・宮本

Email: VL2020chiba@gmail.com もしくは ichii@chiba-u.jp

以 上